

2020 年は『名古屋』で開催いたします！

2020 年年次大会（研究発表会）について

一般社団法人日本ゴム協会
2020 年年次大会運営委員会
委員長 高松成亮

2020 年年次大会を 5 月 21 日（木）・22 日（金）の 2 日間、名古屋プライムセントラルタワー13 階で開催いたします。

今回も活発な討論や交流ができるように、従来の研究発表に加えて、トピックテーマ・特別セッション・英語セッションを準備しております。トピックテーマは「マテリアルズ・インフォマティクス」を取りあげ、特別セッションでは「SDGs へのゴム企業の対応」を設けます。また、ゴム理論の基礎を学べる場としてゴム理論入門講座も設けます。多くの方の積極的な発表・参加をお待ちしております。

会期：2020 年 5 月 21 日（木）・22 日（金）

会場：名古屋プライムセントラルタワー13 階（〒451-0045 名古屋市西区名駅 2 丁目 27-8）

※地下鉄「名古屋駅」1 番出口から徒歩 4 分 <http://office.tatemono.com/cgi-bin/view.cgi?id=5>

発表について

今回の年次大会研究発表会は以下の発表形式で行います。

1. **研究発表** 口頭発表（若手・一般）とポスター発表（共通）の両形式で行います。発表言語は英語または日本語とします。若手口頭発表とポスターは発表件数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。

（同じ発表を口頭/ポスターの両方で発表することも可能です。若手口頭発表は申込時 35 歳以下に限ります。）

2. **発表内容** ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関するものであれば特に分野は問いません。また、既発表のものを含んでも差し支えありません。

3. 発表テーマの選択

今回の一般発表は、以下の 4 つの方法で行います。

1) 従来どおりの方法での発表

以下の①～⑳から適切なテーマをお選びください。

①合成・重合、②構造、③物性、④分析法・解析評価法、⑤新材料、⑥ナノテクノロジー、⑦シミュレーション、⑧熱可塑性エラストマー、⑨配合、⑩練り、⑪成形加工、⑫接着・粘着、⑬金型、⑭劣化・寿命・信頼性、⑮トライボロジー、⑯リサイクル・グリーンケミストリー・環境、⑰衛生・アレルギー・ヘルスケア、⑱エネルギー関連、⑲その他

⑳新製品・新技術の紹介（ポスター発表のみ）

※⑳は表彰の対象とはなりません、企業名・商品名を用いても構いません（賛助会員でも発表可能です）。

2) トピックテーマでの発表

今回は「マテリアルズ・インフォマティクス」をテーマとしたセッションを設け、一般口頭発表を受付けます。※このセッションに若手発表はありません。若手発表は上記「1) 従来どおりの方法」のテーマからお選びください。また、従来どおりの方法でお申込みいただいた一般発表でも「2) トピックテーマ」に変更させていただくこと、およびその逆の変更もございますことをご了承ください。

3) 特別セッションでの発表

「SDGs へのゴム企業の対応」をテーマとしたセッションを設け、一般口頭発表を受付けます。

4) 英語セッションでの発表

「英語セッション」を設置します。英語でご発表の方は本セッションをお選びください（一般口頭発表のみ）。

4. 優秀発表賞

優秀な若手口頭発表とポスター発表には優秀発表賞を授与し、ミキサーの場で表彰いたします。最も優れた研究発表には CERI 最優秀発表論文賞が授与されます。また、英語セッションでの発表にも賞を設ける予定です。

5. ゴム理論入門コース

ゴムの基礎を学ぶ「今さら聞けないゴムの架橋」を開催いたします（一般発表はありません）。

6. 発表方法

- 1) 口頭発表は液晶プロジェクターを用いて行います。パソコンは各自でご持参ください（予備として USB メモリなどもご持参ください）
- 2) 口頭発表の時間は 1 件あたり 15 分（発表 12 分、討論 2 分、交代 1 分）の予定です。関連ある継続発表を希望する際は、その順序を①、②とご記入ください（若手と一般を継続することはできません）。

7. ミキサー

初日の夕刻に、参加者の交流の場としてミキサーを開催いたします。活発な討論後の情報交換の場となりますので、多数のご参加をお待ちしております。

研究発表の申込み要領

2020 年 1 月 24 日（金）までに HP (<http://www.srij.or.jp>) からお申し込みください。なお、発表者は日本ゴム協会会員（個人会員）であることが必要です。

発表申込み受理

1. 発表申込みの採否およびプログラム編成は年次大会運営委員会にご一任ください。
2. 発表申込みを受理されたものについては、発表日時などを申込者あてにお送りいたします。

予稿原稿

1. 予稿原稿の枚数は A4 判 1 枚です。
2. 予稿原稿提出はメール添付 PDF のみとします。
3. 原稿締切 2020 年 3 月 27 日（金）事務局必着

連絡先

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル
一般社団法人日本ゴム協会 2020 年年次大会係
TEL : 03-3401-2957 FAX : 03-3401-4143
E-mail : office@srij.or.jp
<http://www.srij.or.jp/>

2020 年度年次大会トピックテーマについて

トピックテーマ：「マテリアルズ・インフォマティクス」

材料と人工知能（AI）技術が融合したマテリアルズ・インフォマティクス（MI）は産業界に急速に広がっています。MI は AI を駆使し材料のビッグデータを用いて、新しい物質や物理現象を探索する手法です。従来の物理シミュレーションでは物理法則に則った予測しかできませんでしたが、MI は入力と出力の応答関係のみを基に効率的な材料開発のみならず、研究者の経験や勘では到達できない未知の発見につながる手法として期待されています。本トピックでは MI およびその基盤となる手法（機械学習、先端計測など）の高分子材料への応用（分子・材料設計～加工プロセス）を主題に多数の皆さまのご発表とご参加をお待ちしております。

特別セッション：「SDGs へのゴム企業の対応」

SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））は 2015 年 9 月の国連サミットで採択され「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のための国際目標です。17 の国際目標がありますが、今回のセッションでは「イノベーション」にスポットをあて、ゴム・エラストマー・接着&接着下地処理に関する技術革新につながる研究発表の募集を行います。大学・企業の先端技術やすでに社会に貢献している技術に関する発表をお待ちしております。

ゴム理論入門コース：「入門コース 6 -今さら聞けないゴムの架橋-」

過去 5 回開催いたしました「入門コース-今さら聞けないゴムの理論-」は皆さまから大変ご好評をいただきました。本年度も入門コース第六弾といたしまして「ゴムの架橋（加硫）の架橋構造と解析」をテーマに開催いたします。ゴムの加硫は 1839 年に発見されてから、工業技術として非常に進歩しております。しかし、この基本的な硫黄加硫においても、どのような反応機構で進み、どのような架橋構造をもつかは未だに明確にされておらず、議論の最中であります。

このセッションではゴムの加硫についての基礎的な事柄とその根底にある理論を依頼講演により解説いただき、ゴム材料を扱う技術者・研究者のみならず、初心者・初級者も「ゴムの加硫」について一緒に考え、学べる場として設定いたしました。多数の皆さまのご聴講をお待ちしております。